

2018年8月7日(火)

神奈川新聞 教育面掲載

ザ・チャレンジ

ザ・チャレンジ

(大学受験編)

学校の夏休みもすでに2週間が過ぎました。「天王山」とも呼ばれる夏は、大学受験を目指す受験生にとって最も学習量をこなすことができる大切な時期ですが、計画通り学習を進められているでしょうか。

夏休みが始まった時の高いモチベーションのまま、計画通りの学習を一生懸命進めている方もいれば、学習内容に迷いが出たり一日の学習時間や学習量が当初より減ってしまったりなど、うまく進められていない方もいらっしゃるかもしれません。

1日12時間以上は学習時間を確保したいこの夏休み、受験生にぜひ取り組んでおいてもらいたいことをいくつかお伝えしたいと思います。今の学習を見直す意味でも、受験生の方は参考にしてください。

まず一つ目に、この長い夏休みの後半戦もやる気を維持させるため、①自分がなぜその大学を志望したのかという理由と、②その第1志望校に合格するという強い意志

Q. 夏休み、取り組むべき学習は？

を、改めて思い起こしてください。

受験勉強の期間を有効活用していく上で最も重要なことですが、長い夏休みの中で意外と忘れがちなことでもあります。計画通りに進まない方は特に思い起こしてみてください。

二つ目に基礎固めを徹底することです。すでに夏休みを使って基礎固めの学習を行っている方も多いと思いますが、具体的な演習としてはセンター試験レベルの基礎を固めること、センター試験10年分の過去問をやり切ってそこから自分の実力を測ったり課題を確認しましょう。

センター試験の過去問を演習することは、国公立・私立志望を問わず基礎力の定着を図るのに重要な学習となります。センター試験の問題を解くことで自分の課題を発見できれば、今からでもその課題を克服するための基礎固めに取り組むこともできるのです。過去問演習は出題傾向や時間配分

をつかむことで「相手」を知ることができるだけでなく、自分に足りないものを分析して対策を打つこともできる重要な学習です。

そして三つ目に、第1志望校の過去問にも取り組んでください。ひとまず1年分、各教科取り組んで問題傾向と自分自身の課題を見つけましょう。本格的に過去問に取り組む前に「相手」を理解し、夏のうちに少しでも対策を打っておくことが大切です。

夏休みは基礎固めの徹底とセンター試験の過去問演習、とにかく学習量を最大限に確保して、後悔のない過ごし方をしてください。

(CG高等館 東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な「学び」の情報を紹介。次回は小学校編。

A. 基礎固めとセンター試験の過去問演習



大学進学情報紙「TOSH IN TIMES」
CG高等館 東進衛星予備校各校舎で無料配布中